

平成 26 年度第 2 回奈良市スポーツ推進審議会会議録	
開催日時	平成 26 年 10 月 14 日（火） 午後 2 時から 傍聴受付 午後 1 時 30 分から 1 時 45 分
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 第 18 会議室
議 題	議事 1 平成 27 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について 【資料 1】 報告事項 1 平成 27 年度からのスポーツ施設の指定管理について【資料 2】 2 その他
出席者	委 員 高橋会長、坪井副会長、笠次委員、北畑委員、小林委員、辻井委員、 中尾委員、中野委員、野阪委員、 【計 9 人出席（うち 1 人は途中参加）】 （池住委員、成瀬委員、藤原委員、松本委員は、欠席）
	事 務 局 今西市民活動部長、松田課長、西川補佐、北森係長、 土田係長、谷
開催形態	公開（傍聴人 1 人）
決定事項	「平成 27 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について」は、 「妥当適正」と認められた。
担当課	市民活動部 スポーツ振興課
議事・報告事項の内容	
議事 1	平成 27 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について【資料 1】
報告事項 1	平成 27 年度からのスポーツ施設の指定管理について【資料 2】
報告事項 2	その他
事 務 局 （土田係長）	開催に先立ち、出席状況の報告。 委員 13 名の内、8 名の委員が出席。 奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第 7 条第 1 項の規定により過半数を超えていますので、会議が成立したことを報告いたします。
今 西 市 民 活 動 部 長	挨拶
事 務 局 （土田係長）	奈良市スポーツ推進審議会会議運営要領第 2 条に基づいてこの会議を 公開とします（傍聴人は 1 人）。 それでは、ここからは奈良市スポーツ審議会に関する条例第 5 条 2 項規定により、高橋会長に進行をお願いします。

高橋会長	<p>挨拶</p> <p>議事に先立ちまして、本日の議事を記録に留め置くため、議事録署名委員の選出でございますが、私から指名させて頂いてご異議ございませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
高橋会長	<p>それでは、ご異議がないようでございますので、私から指名させていただきます。</p> <p>中尾委員と辻井委員とのお二人にお願いいたしたいと存じます。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p>
事務局 (松田課長)	<p>議事1「平成27年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について」を議題とします。</p> <p>お手元の【資料1】をご覧いただきたいと思います。</p> <p>資料の1から37番の37団体に補助金を交付したいと思います。</p> <p>まず、『奈良市体育協会』は、様々なスポーツ事業を展開し、各スポーツ団体の育成等にも関わり非常に多くのスポーツ団体の取りまとめ役として活動をしています。</p> <p>その他、昨年まで補助金を交付していた全ての団体に対して9月にヒアリングを行い、その際、奈良市の財政事情に基づき、補助金の方向性についても説明いたしました。自主財源の確保に努めていただきたいということ、それぞれの団体にお話ししました。その結果、平成27年度からは補助金の必要はないという団体もあります。</p> <p>まず、奈良市柔道協会、奈良市サイクリング協会、奈良市卓球協会、奈良市ソフトボール協会、以上4つの団体は来年度の補助金の要求はしないという確認をいたしました。</p> <p>次に、大会等開催補助金についてですが、奈良市小学生バレーボール連盟には小学校のバレーボール選手権大会をして頂いておりますが、こちらも来年度は補助金の予算要求はしないということです。</p> <p>次に、姉妹都市交流事業についてですが、奈良市サッカー協会に交付しておりますキャンベラとの交流事業です。今年度はキャンベラからの選手の受け入れのため、補助金を交付しましたが、平成27年度には事業がないので要求はありません。奈良市ソフトテニス協会について慶州市との交流は、27年度には事業がないので要求はありません。</p> <p>また、平成26年度に交流事業がなかった団体で27年度に事業が行われる団体もあります。奈良市ソフトボール協会と奈良市剣道連盟の二つについては来年度小浜市との交流事業が予定されております。</p>
事務局 (松田課長)	<p>奈良市の予算要求方針はまだ決定されておられませんので、一部変更はあるかもしれませんが、スポーツ振興課の方で必要性を鑑みて査定をいたしました。</p>
高橋会長	<p>当議題は、補助金要望が出ております団体へ補助することについて審議いただくものであります。</p> <p>只今の質問に関しまして、何かご質問などございませんか。</p>

高橋会長	<p>それでは、私の方から一つ伺います。</p> <p>9月にヒアリングをしたとのことですが、その際、補助金の額が0でも構わないという団体もいくつか出たとのこと。活動自体には補助金がなくても支障は生じないということですか。</p>
事務局 (松田課長)	<p>来年度に活動をしないということはありません。自主財源の確保が出来ていて奈良市からの補助金に頼らなくても十分な活動が出来るので補助金は要求しないという確認を取っております。</p>
高橋会長	<p>また、減額された団体も一部あります。特に姉妹都市交流事業ですが、一部目的を達成した事業もあり、更に自主財源の確保もできているので減額への理解をしていただいております。</p> <p>奈良市社会人早朝野球連盟ですが、来年度に『第31回西日本早起大会』が開催されます。奈良市を中心に開催されるとのことですので、補助を新たに付け加えております。</p>
高橋会長	<p>採決に入りたいと思います。</p> <p>本件に関する当審議会の意見としては、スポーツ団体に対する補助金の交付は適当と認めることについて、ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
高橋会長	<p>『スポーツ団体に対する補助金の交付は、妥当適切であると認めます。』と、答申します。</p>
事務局 (松田課長)	<p>次に、報告事項1の『平成27年度からのスポーツ施設の指定管理について』を事務局から説明していただきます。</p>
事務局 (松田課長)	<p>『平成26年度における指定管理者の指定の手続きに関する方針』です。</p> <p>平成26年度末で指定管理の期間が終了する体育施設がほとんどです。そのため、平成27年度から新たに指定管理者を募集しています。まずは、『指定管理者を公募して指定する方針の公の施設』についてです。</p> <p>『鴻ノ池陸上競技場等3施設』は鴻ノ池陸上競技場、鴻ノ池球場、鴻ノ池コートの3つの施設を1グループとして5年間の公募をさせていただいています。</p> <p>もう一つが、『南部生涯スポーツセンター等6施設』で、南部生涯スポーツセンターの体育館、テニスコート、多目的コート、球技場と柏木公園内にある柏木球技場とテニスコートの6施設を1グループに公募させていただいております。これも5年間の公募です。</p> <p>一方、『指定管理者を公募せずに指定する方針の公の施設』についてです。『中央体育館等6施設』は、中央体育館、中央第二体育館、中央武道場、中央第二武道場、弓道場、鴻ノ池相撲場の6施設は、5年間の非公募で奈良市総合財団に指定管理を求めたいと思います。</p> <p>また、『西部生涯スポーツセンター等19施設』は、西部生涯スポーツセンターを中心とした19施設です。この中には、管理棟・管理人がない無人の施設も含まれております。このグループは、3年間の非公募で奈良市総合財団に求めたいと思います。</p> <p>以上4つのグループの指定管理を今回募集しています。</p>

事務局  
(松田課長)

この方針について、特に鴻ノ池運動公園の方針について説明させていただきます。

鴻ノ池運動公園は奈良市の体育施設の中心地です。昭和 59 年のわかき国体を中心に整備したものであり、全体が老朽化している傾向にあります。この運動公園を奈良市、また奈良県の中心のスポーツ施設として今後も維持管理をしていきたいということで、活性化を考えております。

公募施設については、これらは陸上競技場、野球場、テニスコートなどの『屋外施設』です。陸上競技場については、サッカー競技の J 3 への対応も出来るようにピッチサイズを 107m に拡張しているところです。野球場、テニスコートも含めて、これらの施設を 5 年間で公募しております。この中で特に重視しているのが、運動公園の体育施設だけではなく、その周辺の美化促進です。公募内容では、指定管理者に日常管理としての周辺の清掃活動等も求めています。

陸上競技場では芝生の状態が悪く、年間通じてベストコンディションでゲームが出来るような芝の管理運営の提案も求めています。

非供用日を減らすことによる供用日の拡大、また、早朝から夜遅くまで対応できるような供用時間を拡大する提案も求めています。

また、非公募の部分は、『屋内施設』です。現在耐震工事中の中央体育館と中央第二体育館は、奈良市の一番大きな施設として色々なイベント等にも使われております。耐震工事が終わった年明けには、床の研磨とトイレの改修も行います。築 45 年と非常に老朽化してはおりますが、本年度にエアコンも設置し、今後 10 年間は体育施設として機能するよう維持したいと思っております。次の奈良市の顔ともいえるアリーナ建設も含めて検討していかなければいけないと考えており、中央体育館はその方針を決定するまでの 5 年間は非公募で指定管理をしていきたいと考えております。

武道施設は奈良県内でも唯一のもので、武道の中心地になっておりますので、武道団体との協力性が非常に強く公募にすると、武道各団体に協力を求めにくくなります。非常に多くの事業も展開していただいているので、非公募の方がより利用者に喜ばれる運営が出来るということで非公募にさせていただきました。これも 5 年間の非公募でございます。

『健康づくりゾーン・憩いのスペース』については、健康づくりのため、遊歩道をウォーキングやランニングで利用される方が非常に多いので、公園緑地課と協力して遊歩道の整備をしていきたいと考えております。特に、夜間の照明器具を増設し、23 時ごろまで明るい安全な遊歩道という形になるように整備をしていきたいと考えております。

色々な意味で、早朝から夜遅くまで健康づくりのために、市民の皆様喜んで利用して頂けるゾーンづくりを考えております。このゾーンの普段の管理は屋外スポーツゾーンの公募と同じ指定管理者にお願いしたいと考えております。

事務局  
(松田課長)

最後に、『公園活用推進ゾーン』は、中央広場を中心に駐車場として活用しているのですが、駐車台数が非常に多く、土日には路上駐車等が問題となっています。駐車場の適正管理と路上駐車防止のため、駐車場の有料化の取組みを進めております。

また、飲食店が公園内にないので、池の畔にある第1駐車場の場所に飲食店を誘致できないか検討しております。池の畔も遊歩道になっておりますが、現状では整備ができておりません。これの整備も含め遊歩道と飲食店誘致の二つを合わせた美しい公園づくりを考えているところです。黄色の部分については、スポーツ振興課の方が中心となり検討を進めているところです。

以上、『平成27年度からのスポーツ施設の指定管理について』のおおまかな内容です。

野阪委員  
事務局  
(松田課長)

期間を5年と3年間に分けた理由は何故ですか。

公募については出来るだけ長い期間ということで5年にいたしました。

非公募で3年と5年間に分けた理由を説明いたします。

まず3年間にした西部生涯スポーツセンターについてです。センターには屋内プールがあります。プール施設は15年単位でリニューアルまたは建て替えをするものらしいのですが、西部生涯スポーツセンターの屋内温水プールは17年を経過しております。非常に老朽化し設備も傷んでおります。この3年間で方向性を検討しながら方針を決定するというところで3年の期間に設定いたしました。

中央体育館等を5年間にいたしましたのは、3年では方針が決まらないということです。特にアリーナについては、奈良県の動向も見ながら、どういう方向性を示すのか検討しているところでございます。奈良県でも、県のアリーナをどこに建設するのか検討中です。

もし奈良市内にアリーナが建設されるのであれば、奈良市内に二つのアリーナは要らないので、その場合は中央体育館を市民レベルの体育館として大リニューアルして活用するのも一つの方法です。また、もし奈良市外に建設されるのであれば、奈良市のアリーナ建設の必要が出てくると思います。その場合は、アリーナを建設する費用は安く見積もって70～80億円となり、中央体育館と第二体育館を合わせたアリーナ、そこに武道施設をも入れたものを建設しようとするれば100億ほどの金額になると言われています。それを現在の奈良市の財政事情で負担するのは非常に難しいです。これからアリーナを建設する場合は、PFI方式を導入しないと非常に難しいです。

PFI方式を導入するのは早くても6～7年、長ければ10年近くかかるのではないかという理由で、この5年間でPFIを導入するかの方針を決定したいと考えております。

以上の理由で、3年と5年間の区別をしております。

野阪委員

西部生涯スポーツセンターですが、近隣に大規模な商業施設ができているところです。人の流れも大きく変わるので、今後の展開に影響を与え

野 阪 委 員 事 務 局 (松田課長)	<p>ると思いますが、どのような考えを持っておられますか。</p> <p>西部生涯スポーツセンターの隣に商業施設が出来ており、奈良県の方でもセンター前の道路を拡幅するために、来年度には工事に入り、駐車場も少し狭くなります。</p> <p>体育館やプールもあり、奈良市としても非常に利用者の多い施設ですので、駐車場も毎日ほぼ満車の施設です。人の流れも含めて方向性を検討していきたいと思っております。</p>
笠 次 委 員 事 務 局 (松田課長)	<p>先生方のご意見を頂けたら有難いと思います。</p> <p>施設整備の中で宿泊施設の併設と言うのはどのようにお考えでしょうか。西部生涯スポーツセンターの立地条件というのは、高速道路の横に位置しており、人を呼び込むのに非常に適していると思います。</p> <p>今のお話の通り、西部生涯スポーツセンターの立地は非常によいのですが、施設そのものの集客数が少なく、大きな大会を誘致するのは難しいです。市民活動レベルで使用するのには適していますが、全国大会や近畿大会などの大きな大会を誘致するのは、鴻ノ池ではないかと思えます。</p>
笠 次 委 員	<p>ただ、鴻ノ池運動公園の中に合宿施設を建設するのは、土地の面積の問題で非常に難しいです。近くに少年刑務所があり、移転問題も出ているところですが、その動向も見ながら、運動公園とホテルが一体化したのも検討していかなければならないとの話も出ております。</p> <p>昨年 11 月だったと思います。大阪大学が箕面市と計画して進めている事業が新しい駅を作る、それから高速道路にも近い場所ということで、宿泊施設は阪急ホテルグループと、体育施設の方ではパフォーマンスーツということに注目したものです。例えば、舞台芸術などです。</p> <p>面積としては比較的少なく済みます。大会などが開催されていないときもコンサートや舞台の発表会等で利用できるものです。大阪と競合してしまうのは良くないことも出てくるかもしれませんが、面積が少なければ少ないなりに工夫の仕様があるのではないかと思います。</p>
高 橋 会 長 事 務 局 (松田課長)	<p>駐車場を有料化することですが、他の駐車場については、どこにあるのですか。有料化はどのようになっているのでしょうか。</p> <p>現在、中央体育館の前の駐車場、中央広場、陸上競技場の北側に位置する北の広場、そして西部生涯スポーツセンターの駐車場は毎日満車の状態であり、隣に商業施設もできることから有料化を進めていこうと検討しているところです。</p> <p>それ以外の鴻ノ池運動公園の駐車場ですが、一番奥の投てき練習場の隣にある第 2 駐車場、多目的広場の一番奥にある第 3 駐車場、それからテニスコート前の駐車場、以上については中央体育館や陸上競技場等の施設から非常に遠いということで、現在のところ有料化は検討しておりません。理由は、駐車台数を考えると有料化のためのゲートの設置費用にコストがかかり有料化しても赤字となることが考えられるからです。</p> <p>このような場合は無料で市民の方に提供することにし、施設まで距離があるけれど、それでも良い方に歩いて利用いただければと思います。</p>

高橋会長	飲食店の入ってくる場所については、飲食店のための駐車場ということでしょうか。
事務局 (松田課長)	第1駐車場には飲食店の誘致を進めていますが、これは飲食店の駐車場として飲食店が同じ金額を設定すると思います。
高橋会長	公園利用者は有料にし、店利用者にはパスを出すという形で検討しているところですか。
高橋会長	鴻ノ池運動公園が大きく変わろうとしているので、この際ご意見がありましたらよろしくお願ひします。
笠次委員	公園内のブルーのゾーンですが、ランニングに適切なコースがあったと思います。また緑のゾーンについても整備計画などはありますか。
事務局 (松田課長)	先程も説明しましたが、緑の『健康づくりゾーン』の街灯の間隔が広くて暗いという指摘を受けております。陸上競技場の周囲にも街灯がついていますが、こちらの間隔が広いです。新たに街灯を増やして間隔を狭め、23時くらいまでは明るい照明の中で夜間走れるようにすること、健康づくりのゾーンとしてのスペースを楽しんでもらうためにはどうするかということ、整備計画の中に含んでいきたいと考えております。
笠次委員	その計画に加えるよう出来る範囲でご検討いただきたいのが、『ファミリー公園前』の時にも私がアドバイスさせていただいたことです。最近、中高年の方のランニングがブームになっていて、基礎疾患をかかえている方も多くランニングをされています。ファミリー公園前ではジョギングコースに救急車が入れるようにしています。
笠次委員	心肺停止で倒れた方がいるのに、救急車が入れない状態では、ストレッチャーで救急車まで運ぶ手段しかなく、それでは手遅れになります。鴻ノ池陸上競技場であるならば非常に広いのですぐに救急車が入れますが、最初の計画の段階でないとできないことです。救急車がすぐに入れることを念頭に置いた形でのジョギングコースの設置というのが従来なされていません。
事務局 (松田課長)	非常に狭い場所のため、ここは出来る範囲でという形で構わないのですが覚えておいて頂きたいと思ひます。
事務局 (松田課長)	道幅は可能だと思ひます。
中野委員	入口のゲートを自動車の通行等があると危険だということで、普段はバリカー等で閉めております。救急車が入るときに、そのバリカーを速やかに下ろせるのかどうかということがこれからの問題になってくると思ひます。貴重なご意見を有難うござひます。
中野委員	『憩いのスペース』等の場所では、トイレやベンチ等の休憩スペースの設置はどうなっているのでしょうか。施設の周りにはトイレが多く設置されていますが、このようなスペースには意外と少なかったりします。
中野委員	競技者以外の特に高齢の方々が利用する際に休憩したり、ジョギングの途中で休んだりするベンチがあれば助かるというのがあります。
中野委員	競技者のためだけではないスペース作りをしていただきたいと思ひます。

事務局 (松田課長)	<p>ベンチは設置されているのですが老朽化しており、それも含めて考えていかなければならないので、公園緑地課と相談して検討していくところです。</p> <p>トイレについては、中央第二武道場の近くに一箇所、相撲場の隣に一箇所、多目的広場にも一箇所で、公園の中には計三箇所のトイレがあります。屋外のトイレが三箇所では非常に不十分であるのもわかっております。しかし、緑の丘の上に設置するとなると下水道が通っておらず、当面は難しいと考えております。</p> <p>新しい公募では、トイレ清掃も毎日行い、汚れていたら適宜清掃するような提案を求めているところです。</p> <p>快適なトイレになるように、来年度のトイレの新設・改修を公園緑地課にお願いしているところです。既存のものも含めて今後検討していきたいと思います。</p>
笠次委員	<p>指定管理者が独自に事業を行うことを奈良市としてお認めになるのかどうか。要は、自分たちが設ける形でも色々な事業を指定管理者がやってもよいのかどうかということへの考えをお聞かせください。</p>
事務局 (松田課長)	<p>指定管理業務には、自主事業の展開も含まれております。</p> <p>特に公募いただける団体は、民間企業になってくると予測しております。例えば、売店の設置や自主事業であるスクールの展開なども計画も提案頂けるように仕様書に入れております。</p>
高橋会長	<p>では、報告事項1『平成27年度からのスポーツ施設の指定管理について』はこれで終えさせていただきます。</p> <p>最後の報告事項2『その他』ですが、説明をお願いします。</p>
事務局 (松田課長)	<p>スポーツ振興課が取り組んでいることについて報告させていただきます。</p> <p>2020年には東京オリンピックがあります。地方都市である奈良市として何ができるのかということを検討しております。特にキャンプ地の誘致を積極的に進めていきたいと考えているところです。</p> <p>また来年には、北京で世界陸上があると聞いております。世界陸上のキャンプ地を日本各地が各国に誘致活動をしているところです。奈良市も誘致をすすめているところです。来週には、アメリカやカナダ等の国が鴻ノ池運動公園の視察に来ることを県から伺っています。</p> <p>そして、2019年にラグビーのワールドカップが日本で行われます。そのキャンプ地として鴻ノ池運動公園の誘致を陸上競技場中心に行いたいと思っております。昨日、南アフリカ共和国が御所実業の方に来られたということで、県の方から誘致活動の一つとして奈良市にも声をかけてくれました。奈良市でも誘致をお願いしたところです。</p> <p>これから、色々なスポーツイベントが日本を中心として開催されるので奈良市としてもキャンプ地も含めて何ができるのか検討しているところです。</p> <p>先生方のご意見を頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>



高橋会長	2020年の東京オリンピックに向けて、奈良市で何が出来るのかということですが、何かご意見等ありましたらよろしくお願ひします。
笠次委員	2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピックがあり、その翌年に関西広域連合が誘致した2021年のワールドマスターズゲームズがあります。参加者レベルではオリンピックの倍以上で、開催期間は2週間以上です。世界各国からかなりの人が集まりますが、誘致したのが関西広域連合ですので奈良県は入っていないのです。 オリンピックとの大きな違いは、オリンピックは競技者という形での参加なので地域への経済効果は低いですが、ワールドマスターズゲームズというのは35歳以上であれば誰でも参加できるという形で世界中から集まり、開催期間にもかなりの余裕があるので、関西地区への経済効果は高くなると思います。 県と市という区別はあるでしょうが、奈良市は観光資源として良いものを持っておりましてでなんとか上手くつないでいきながら、2021年に向けて動くということを常に念頭に置いて欲しいと思います。
事務局 (松田課長) 坪井副会長	奈良市では観光も含めてスポーツ推進を中心に色々な形で進めていきたいと思っています。 世界陸上のキャンプ地等で使用するのなら、その期間は中央体育館や陸上競技場が使用不可となるので、綿密な使用日程の調整をしていかなければならないと思います。 現在も、体育館や陸上競技場は予約が飽和状態です。しかも、来年度には近畿でインターハイが行われるということで近畿圏に空いている会場がなくなるということです。世界陸上は8月22日から中国で行われますから、キャンプ地と利用するとなれば8月上旬からの使用となり、中体連の近畿大会、近畿インターハイの時期と重なります。 今から、中体連近畿大会の会場の調整をしたくても奈良県内にも近畿圏でも施設の空きがなく、どうしようもないということになります。 面密に日程の調整をいただき、中学生の育成という部分も考えて頂けたらと思います。
事務局 (松田課長)	来年は、国体が和歌山県で、インターハイを近畿で行うので世界陸上の誘致は他の県も活発にされていると思います。来年の夏は陸上競技場には、かなりの影響が出てきます。近畿中体連の陸上大会世界陸上のキャンプの日程が重なるということも検討をしながら、なんとか調整できたらと思います。 世界陸上のキャンプ地については、早い段階で奈良に決まらないと思います。決定時期が非常に難しく、中体連の近畿大会との日程調整を検討させて頂きたいと思います。
高橋会長	では、他にご質問、御意見がないようですので、本日の会議は、これを持ちまして閉じさせていただきたいと思います。 ありがとうございました。

<p>事務局 (土田係長)</p>	<p>本日は、大変お忙しいところ、ご出席を賜り、貴重なご意見を頂戴いたしました。ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様方にいただきましたご意見を、施策の実施に反映させていただき、今後一層スポーツの推進に取り組んでまいりたいと思っております。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>資料</p>	<p>【資料1】平成27年度 スポーツ団体から補助金要望一覧表</p> <p>【資料2】平成26年度における指定管理者の指定の手続きに関する方針</p>